

故岩崎 稜教授主要業績

一 著 書

昭和四五年

保険料支払義務論（大阪市立大学法学叢書29）

有斐閣

昭和四六年

保険監督法

生命保険文化研究所

商法30講義Ⅰ（総則・会社法）〔本間輝雄氏と共編〕

法律文化社

商法30講義Ⅱ（商行為法・保険法・海商法・手形法）〔本間輝雄氏と共編〕

法律文化社

昭和四九年

会社法〔本間輝雄・山口幸五郎・古瀬村邦夫氏と共編〕

法律文化社

昭和五六年

考える手形・小切手法〔倉沢康一郎・田邊光政・奥島孝康

・木内宜彦・川村正幸氏と共編著〕

弘文堂

ニューヨーク州保険法（上巻）〔監訳〕

生命保険文化研究所

商法総則〔本間輝雄・山口幸五郎・古瀬村邦夫氏と共編〕

法律文化社

昭和五七年

ニューヨーク州保険法（下巻）〔監訳〕

生命保険文化研究所

商法教室Ⅱ（会社法）〔本間輝雄氏と共編〕

昭和五八年

考える会社法〔倉沢康一郎・奥島孝康・渋谷光子・新山雄

三・木内宜彦氏と共編著〕

弘文堂

昭和五九年

ロツヒヤー著・西ドイツ普通取引約款規制法〔山下丈共氏

監訳〕

生命保険文化研究所

商法教室Ⅰ（総則・商行為法・保険法）〔本間輝雄氏と共

編〕

法律文化社

昭和六〇年

フランス保険法典（第一巻）〔監訳〕

生命保険文化研究所

ニューヨーク州保険法（一九八三年段階）〔追補版〕〔監訳〕

生命保険文化研究所

商法教室III (手形法・小切手法・海商法) (本間輝雄氏と

共編) 法律文化社

分析と展開… (手形・小切手法) (倉沢康一郎・田邊光政

・奥島孝康・木内宜彦・庄子良男氏と共著) 弘文堂

昭和六一年

フランス保険法典 (第二卷) (監訳) 生命保険文化研究所

フランス保険法典 (第三卷) (訳) 生命保険文化研究所

昭和六二年

分析と展開: 商法I (会社法) (倉沢康一郎・奥島孝康・

新山雄三・木内宜彦・森田章氏と共著) 弘文堂

平成 二年

ニューヨーク州保険法 (一九八八年末段階) 上卷 (監訳)

ニューヨーク州保険法 (一九八八年末段階) 下卷 (監訳)

生命保険文化研究所

生命保険文化研究所

平成 五年

クロフォードビードルズ共著・法と生命保険契約 (監訳)

生命保険文化研究所

## II 分担執筆著書・辞典

昭和四〇年

大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典』 岩波書店

昭和四四年

『社会科学大事典(II)』 鹿島研究所出版会

昭和四五年

田中誠二編集代表『株式会社法辞典』 同文館

昭和四六年

服部栄三・星川長七編『基本法コンメンタール・商法I』 日本評論社

昭和四九年

戸田修三・西島梅治編『保険・海商法』 青林書院新社

昭和五二年

大隅健一郎・戸田修三・河本一郎編『判例コンメンタール

商法III』 三省堂

昭和五七年

『判例ハンドブック会社法』 法学セミナー別冊

昭和五八年

小林孝輔監訳『ドイツ法学者事典』 学陽書房

平成 年

石部雅亮・村上淳一編『ドイツ近代法史辞典』 東京大学出版会刊行予定

## III 論 文

昭和三二年

手形行為の錯誤 会社実務の友二三輯

ジョルジュ・ポタ著／アフタリヨン教授を悼みその業績を

偲ぶ(翻訳)

バンキング一―一―号

事前授権小切手による保険料徴収制度

バンキング一―一―五号

昭和三年

英国小切手法の改正—The Cheques Act, 1957—

バンキング一―一―八号

英国新小切手法実施に伴う銀行実務の改訂点

バンキング一―一―九号

フランスにおける責任保険成立過程および被害者の直接請

求権(1)―(4)完

香川大学経済論叢三一―一―号―四号

英国銀行研究所の商法試験問題

バンキング一―二―五号

英国改正小切手法について

会社実務の友四四輯

フランス相互保険会社法素描

生命保険文化研究所報五号

昭和三四年

米国における事前授権小切手制度

会社実務の友四七輯

ドイツ相互保険法の中核概念

生命保険文化研究所報六号

ドイツ株式会社法成立過程における法人理論の意義(1)(2)

香川大学経済論叢三二―三―四・五号―六号

昭和三五年

現代株式会社法構造の状況的理解によせる覚書(1)——史的

序説——

香川大学経済論叢三三―三―三卷三号

昭和三六年

相互会社の法構造 一九五九年度日本保険学会報告

日本アクチュアリー会関西支部研究会記録八号―九号

規範実行(Normvollzug)の平等取扱原則に占める地位

香川大学経済論叢三三―三―六卷六号

株式に対する憲法の財産権保障と西独組織変更法(上)

(下) 会社実務の友七一輯―七十二輯

保険契約者平等待遇原則ということ

生命保険文化研究所報七号第二分冊

会社の独立性とアメリカ法——閉鎖会社の独立性に対する

一考証

香川大学研究年報一号

株式会社支配の法理論(1)——現代株式会社法構造の状況的

理解によせる覚書(1)——香川大学経済論叢三四―三―三卷三号

昭和三七年

投資家保護に関するアメリカ州法最近の動向

香川大学経済論叢三四―五―五・六号

保険監督法の展開のために 香川大学経済論叢三五―五―二号

昭和三八年

企業法研究九二輯

株式会社法今後の課題

西独株式会社法政府草案理由書総論(翻訳)

取締役責任の信託的構成(1)(2)(3)

香川大学経済論叢三五―六―六号

——現代株式会社法構造の状況的理解によせる覚書

——株式会社支配の法理論(2)——

香川大学経済論叢三六卷一〜三三

スペンサア・L・キムボール『保険と公序政策の発達』紹

介 損害保険研究二五卷二号

昭和三九年

保険史における奴隷——奴隷の運送と買戻——

損害保険研究二六卷一号

保険契約と19世紀ドイツ私法学史 香川大学研究年報三号

昭和四〇年

被保険利益論の近代性と限界——学説史研究——

香川大学経済論叢三八卷五号

昭和四一年

保険料支払義務(上)(中)

生命保険文化研究所論集二号〜三号

昭和四三年

西独の経済監査会社の実態(河本一郎氏と共同執筆)

商事法務研究四五四号

Wirtschaftsprüfer と株式会社決算監査(1)(2)

大阪市立大学法学雑誌一五卷三号〜四号

昭和四四年

戦後日本商法学史所感

割引手形の買戻し

法律時報四一卷三号

法律時報四一卷八号

昭和四五年

書評・大森忠夫『保険契約法の研究』(有斐閣)

法律時報四二卷五号

昭和四六年

W・ワルカロー／保険法上の利得禁止の視角から見た利益

保険・新価保険および評価済保険——第二回AIDAハ

ンブルグ大会における総括報告——(大森忠夫氏と共訳)

保険学雑誌四五二号

他人のためにする保険立法論の中心問題——保険金請求権

の帰属と行使——『日本保険学会創立30周年記念論文集』

昭和四七年

現代にとって商法とは何か(1)(2)

現代法ジャーナル創刊号〜二号

一九七二年学会回顧・商法

法律時報四四卷一四号

昭和四八年

地震災害と保険 石田・宮原編『現代損害賠償法講座八』

企業の社会的責任と会社法 現代法ジャーナル一一二号

所有と支配の分離 上柳・河本編『企業・経営と法』

生産物責任・総論(一九七二年度日本私法学会シンポジウ

ム報告) 私法三二五号

普通取引条法の法源性

谷川・龍田編『商法を学ぶ』

昭和四九年

保険料支払義務規定の立法論に関する補足

裏書の連続

『損害保険事業研究所創立40周年記念論集』

鈴木・大隅・上柳・鴻・竹内編『新商法演習3

(手形・小切手)』

昭和五〇年

西ドイツにおける保険代理商と外勤職員との区別(1)

損害保険研究三七卷二号

ドイツ株式会社立法の定着過程

鈴木竹雄先生古希記念『現代商法学の課題(下)』

資本集中と企業の方法(正田彬、富山康吉との対談)

正田彬編著『法と経済社会』

昭和五二年

自然災害と保険

『現代と災害』法律時報四九卷四号

昭和五三年

ヨーロッパにおける銀行取引法の展開

法律時報五〇卷二号

保険証券の有価証券性

北沢正啓編『商法の争点』

昭和五四年

発展途上国の保険——UNCTAD調査報告書より——

生命保険文化研究所月報八八号

昭和五五年

西原寛一・日本商法学の理論的確立者

法学セミナー二四卷三号

商法改正の歴史——昭和二五年改正を中心に——

法学セミナー増刊『現代の企業』

昭和五六年

保険業法の問題点——その政策論——(一九八〇年度日本

保険学会報告)

保険学雑誌四九二号

昭和五七年

特別立法によるカルテル適用除外と独占禁止政策

『独占禁止法講座IV』

生命保険と保険料の払込

ジュリスト七五九号

一九八一年フランス保険契約法の改正

保険学雑誌四九八号

保険業に対する政府規制緩和

昭和五九年

公正取引三八五号

ドイツ責任保険の一世紀——追補的回顧——

保険学雑誌五〇五号

昭和六〇年

米国における投資顧問管理手数料問題の展開について

生命保険文化研究所月報一六二号

昭和六一年

フランスの保険行政機構について

文研論集七五号

証券経済の法構造

法律時報五八卷八号

投資顧問業の法的規制について——アメリカの実情を参酌

しつつ——

大阪市立大学証券研究年報一号

昭和六三年

金融自由化と保険商品（一九八七年度日本保険学会報告）

保険学雑誌五二〇号

フアラアによる『法と経済学』株式会社論の検討

本間輝雄先生・山口幸五郎先生還暦記念

『企業法判例の展開』

商法の適用範囲と商人概念

竹内・龍田編『現代企業法講座Ⅰ』

英国におけるインサイダー取引規制の現状

大阪市立大学証券研究年報三号

平成 一年

相互会社をめぐる諸問題（一九八九年度日本保険学会報告）

保険学雑誌五二七号

フランスにおける相互保険会社社員の経営参加の問題点

文研論集八七号

平成 二年

フランスにおける『保険監督委員会』制の導入

文研論集九二号

平成 三年

保険における消費者保護 加藤・竹内編『消費者法講座6』

金融国際化時代における株式会社法の課題

大阪市立大学証券研究年報六号

平成 四年

保険事業の定義 竹内昭夫編『保険業法の在り方（下）』  
共同行為とその取扱い

フランスの兵役保険 竹内昭夫編『保険業法の在り方（下）』  
文研論集一〇〇号

平成 五年

保険審議会答申をめぐって（一九九二年度日本保険学会報告）  
保険学雑誌五四〇号

平成 六年

養老生命保険における利益配当——ドイツの動向——

文研論集一〇六号

ヨーロッパ統合下でのドイツ保険法 文研論集一〇七号

#### IV 判例研究

昭和三三年

表見代表取締役の一例

バンキング一二五号

昭和三八年

掛買原材料の投売換金をした取締役の不法行為責任および

企業法研究九四輯

昭和四〇年

生命保険契約の告知義務違反につき保険者の過失なしとさ

れた一例 商事法務研究三四三号

昭和四四年

転換法による転換の合憲性 『ドイツ判例百選』

昭和四六年

盗難損害免責規定の趣旨

『運輸判例百選』

昭和五二年

取締役の会社に対する責任と故意・過失

『昭和五一年度重要判例解説』

火災による爆発の損害——爆発約款の解釈

『商法（保険・海商）判例百選』

昭和五五年

相互会社の事業方法書の拘束力

『生命保険判例百選』

地震免責条項の解釈

『損害保険判例百選』

手形の原因関係に及ぼす影響

『手形小切手判例百選（第3版）』

昭和六三年

保険金受取人の親権者による被保険者故殺と保険者の免責

『生命保険判例百選（増補版）』

株式の名義書換請求と権利濫用

『新証券・商品取引判例百選』

平成 一年

信用金庫の商人性

『昭和六三年度重要判例解説』

平成 二年

一傷害保険約款に基づく他保険存在の告知・通知義務違反と契約解除／二海外旅行傷害保険における保険事故発生

が保険契約者の故意によるとの認定

私法判例リマックス一号

平成 四年

質権者に支払われた船体保険金に関する不当利得返還請求権の消滅時効期間

『平成三年度重要判例解説』